

(5) 交通安全施設

町管理の道路照明灯については、道路上始め、橋梁や駅周辺を中心に約3,100箇所設置されている。また、防犯灯については、町中心部の市街化区域内や蟹江川沿いの旧市街地を中心に約150箇所設置されている。

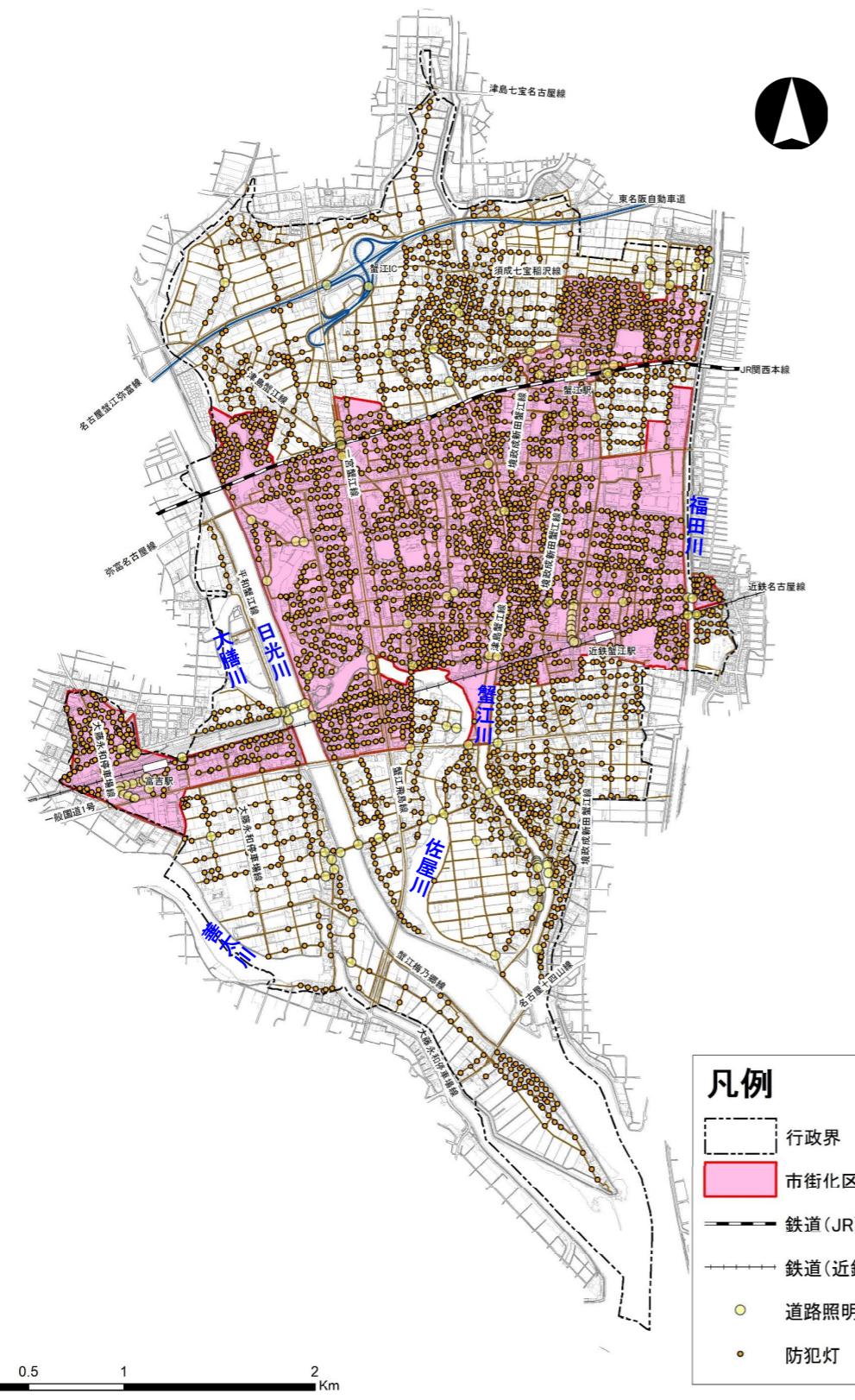


図 町内の道路照明灯・防犯灯の設置状況

資料：蟹江町

(6) 緊急輸送道路

本町はほぼ全域が海拔0mであり、浸水津波避難ハザードマップでも河川沿いを中心に、南海トラフ地震発生後15分で水深30cmになる地域がある。緊急輸送道路の指定状況では、東名阪自動車道、国道1号、一宮蟹江線・蟹江飛島線（西尾張中央道）が第1次緊急輸送道路に、名古屋蟹江弥富線の一部、弥富名古屋線の一部、名古屋十四山線が第2次緊急輸送道路に県により指定されている。また、第1次・第2次緊急輸送道路と町内の防災拠点をつなぐ県道や町道を、町指定の緊急輸送道路としている。しかし、一部の緊急輸送道路では、都市計画道路としては未整備区間が含まれており、暫定路線が緊急輸送道路として指定されている。

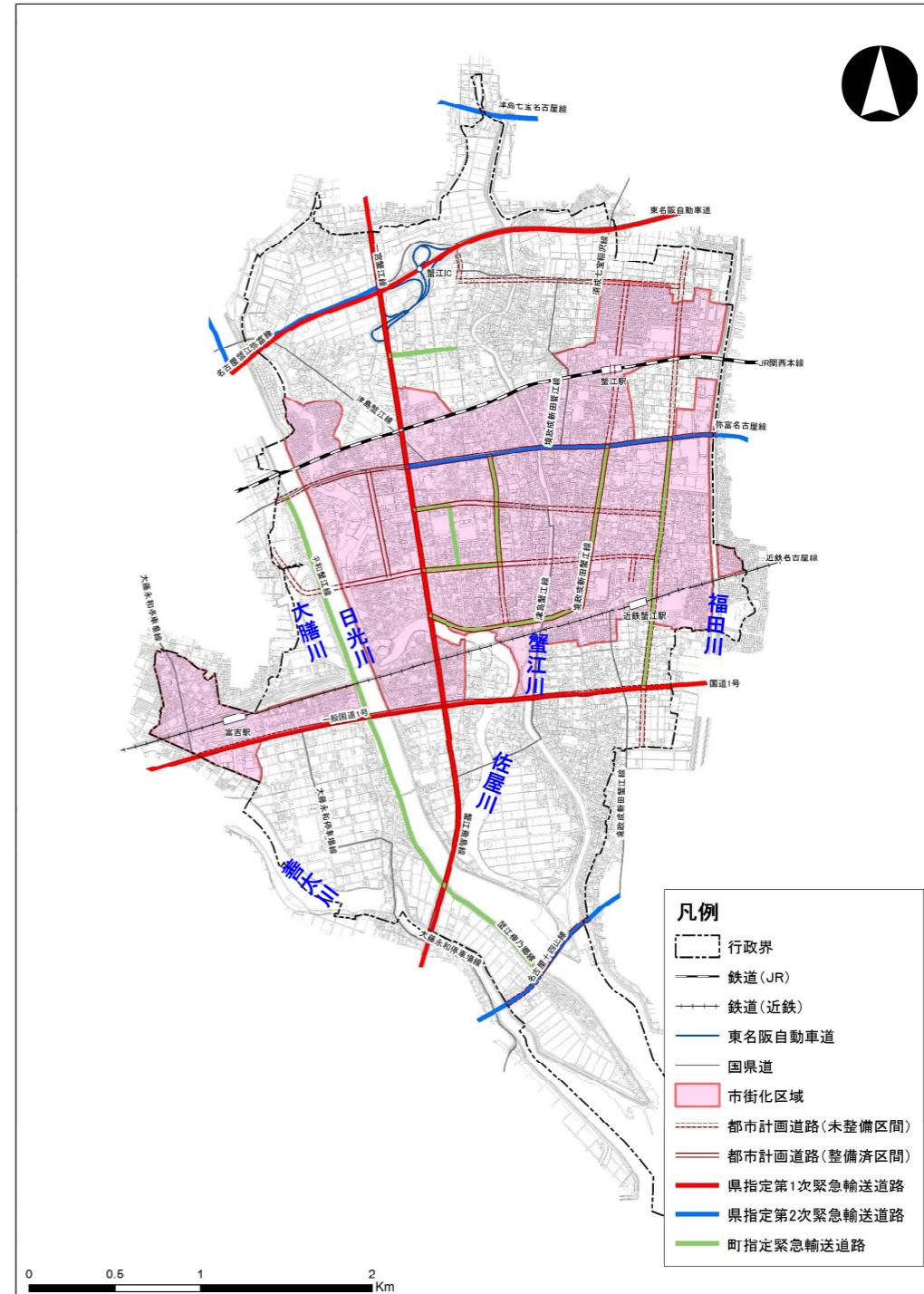


図 町内の緊急輸送道路網図

資料：蟹江町地域防災計画、愛知県防災計画